



<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	・戸外遊びの中で生き物や植物にふれあい、興味や疑問に思ったものはタブレットや図鑑を用いて学ぶ。 ・遊びの材料やルールは児童の意見を取り入れ、主体性が出てくるよう心掛けている。
2	配慮を要する子どもへの対応	・関係機関や保護者と連携を密にし、児童に寄り添った支援に取り組んでいる。
3	運営体制	・法令に則って適正に運営している。
4	学校及び地域・保護者との連携	・学校や保護者との連携を密にしている。学校との連絡会を定期的に実施し、子ども達の困り感や気になる行動を共有している。 ・地域の主任児童委員が訪問視察、児童と交流。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	・毎日衛生管理に心掛け、定期的に安全点検を行っている。又、不備がある場合は迅速に修繕を行う。
	訓練実施回数	13回
6	質の向上	・研修会(ZOOM)や学校との連絡会、同じ校下の安宅・牧児童クラブとの意見交換会に出席し、資質向上に努めている。職場内研修により職員間の共通理解にも努めている。
	1人当り研修参加回数	2.7回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	清掃、片付けを子ども達と行い、施設を大切にに使わせてもらおうという感謝やコロナ禍ながらの仲間との関わりによる協調性を育む。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	2回